

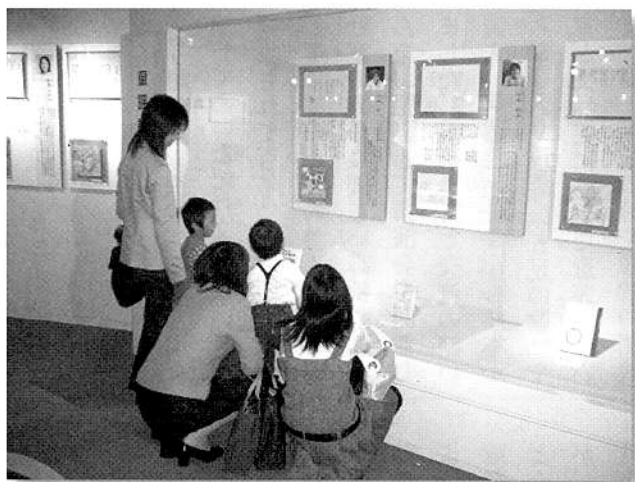
企画展

「みんなおいでよポエムの国へ」
—現代少女詩・童謡詩展—

11月10日(土)～1月6日(日)

現代を代表する詩人七二人の自筆作品と、作品をイメージした描き下ろしイラストを組み合わせて紹介する企画展「みんなおいでよポエムの国へ」現代少女少女詩・童謡詩展—を開催しました。

故木暮正夫さんの監修によるもので神沢利子、岸田裕子、工藤直子、新川和江、谷川俊太郎、



柏木恵美子さん

松谷みよ子、まどみちお、北九州市在住の柏木恵美子などの詩作品を展示。

そのほか、北九州が生んだ代表的な少女少女詩人である阿南哲朗とみずかみかずよの作品も取り上げました。

詩人ひとりひとりの筆跡に作者の個性が溢れ、一枚のイラストに凝縮された作品世界と相俟って、豊かなポエムの国へと誘われます。お母さんと一緒に少女少女詩を朗読する子どもたちから、童謡を口ずさむお年寄りまで、様々な年齢層の来館者でにぎわいました。

展示資料数 七四四点
入場者数 約一四七三人
(イベント含む)

企画展

青木裕子さん朗読会
「クリスマス・キャロル」
12月22日(土)

企画展の開催期間中に、北九

州市出身のNHKアナウンサー・青木裕子さんをお招きして、チャールズ・ディケンズ作「クリスマス・キャロル」の朗読会を開催しました。「聴いているだけで、鮮やかにその情景が浮かんできて素晴しかったです。とても心あたたまる声に癒されました」「語り手は青木さんひとりですが、声色の使い分けで十人以上の話者がいたように思えました」など、クリスマスを前に嬉しいひと時となりました。



青木裕子さん

企画展

「ノラともならず 創作人形とよむ杉田久女の俳句」
1月13日(日)～4月6日(日)



人形師・中村哆佳子さんによる杉田久女の俳句世界を表現した創作人形を展示。「足袋つぐやノラ

ともならず教師妻」(左写真)など計20体の人形と、久女自筆の色紙や書簡、その他俳句関連の収蔵資料を紹介。先年、惜しまれつつ逝去された、俳人・横山房子さんの追悼展示も同時開催しています。
「思いがけず、杉田久女始め、ゆかりの俳人たちの様々な品々を観覧でき楽しかったです。人形展も素敵でした。(五十代女性)」などの感想が届いています。



自分史ギャラリー

「門司発沖繩行きD51列車発車」
1月13日(日)～12月(予定)

北九州市自分史文学賞受賞作品を紹介する自分史ギャラリーが新しくなりました。

今回取り上げた作品は、平成十二(二〇〇一)年度第十二回北九州市自分史文学賞において、佳作と北九州市特別賞をW受賞した山田辰二郎さん作「門司発沖繩行きD51列車発車」です。筆者の山田さんの直筆原稿や執筆資料のほか、作品世界を時系列で展示。当時の国鉄の制服や迫力いっぱいS.Lの写真などもご覧いただけます。是非ご来場ください。



山田辰二郎さんの妻、山田東子さん(中央)。